

第1地域 RRFC 便り 5月号



2022年5月10日発行



「PHS 認証式」札幌市にて盛大に開催される

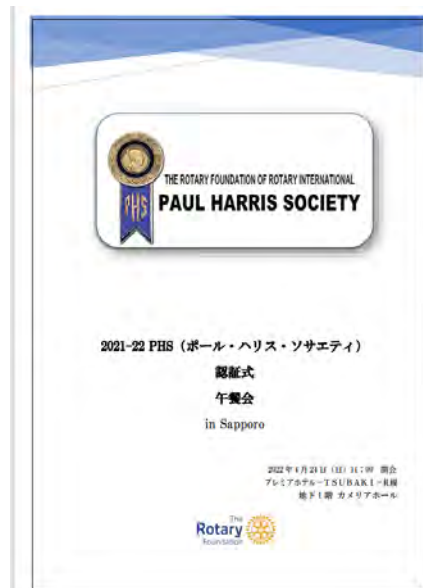
【2022年4月23日-24日】

この号の内容

- 1 「PHS 認証式」が札幌市にて盛大に開催される
- 2 PHS 認証式トピックス
- 3 PHS 認証式のハイライト
- 4 オープニング
- 5 PHS 認証式(入会式)
- 6 PHS 午餐会
- 7 番外編
- 8 寄付推進&補助金
- 9 ポール・ハリスの物語
- 10 ジョーンズ会長エレクトの未来ビジョン
- 11 東本願寺のつじと子規の句



『認証式当日に配布されたプログラム』



2021-22 PHS (ポール・ハリス・ソサエティ) 認証式プログラム	
10:30-10:45	開会 受付
10:45	記念写真撮影
第1部	「PHS 認証式・午餐会」オープニング <司会> 第1地域 ARRFC 細川 吉博
11:00	来賓謝辞 司会より
11:10	開会挨拶 第1地域 E/MGA 中野 新一
11:25	来賓謝辞 第1地域 E/MGA 中野 新一
11:30	ビデオレター上映 TDF 管理会社 三木 明
11:35	開会挨拶 第1地域 R/FIC 藤原 晋
第2部	「PHS 認証式(入会式)」
11:30	開会挨拶 第2地域 R/FIC 藤原 晋
11:35	新 PHS 会員・認証状授与 プレゼンター 第2地域 R/FIC 藤原 晋
11:45	新 PHS 会員から開会挨拶 各地域から1名
11:50	認証状授与の挨拶 第2地域 E/MGA 中野 新一
第3部	「PHS 午餐会」開宴 <司会> 第1地域 ARRFC 細川 吉博
11:55	開会の言葉 乾杯挨拶 第1地域 EPNC 森野 直行
	アトラクション バイオリンとピアノのデュオとき 新田 加子(ヴァイオリン) 岡崎 有佳(ピアノ)
12:30	閉会挨拶 第1地域 R/FIC 藤原 大仁

【PHS 認証式トピックス】 前夜祭の準備と盛会

2022 年 4 月 23 日(土)札幌ビール園開拓使館

札幌市の天気は朝から晴天で、桜の開花が札幌气象台から発表されました。会場の準備には余念がなく、福井敬悟直前ガバナーを執行委員長に、出村知佳子ガバナー・ミニ・デジグネートと中田隆博札幌ロータリークラブ会長が同実行副委員長に就任、地区の財団委員会と国際奉仕・VTT 委員会の有志が実行委員となり組織された「PHS認証式実行委員会」が早くから現地で準備を開始し、お迎え準備が整いました。開会時間前にご遠方からのご来賓も到着され、着席の案内を待つばかりでありました。些か緊張で喉が渇き、早くビールを飲みたい！ご来賓の入場とアナウンス、そして愈々全員着席を待つ第2510地区大日向ガバナーから歓迎の挨拶に始まり、ご来賓・辰野克彦国際ロータリー理事からのご挨拶と乾杯の発声で「前夜祭」は賑やかに開会となりました。無論、辰野国際ロータリー理事は、日本で一番お忙しく活躍され、重責を担われているとても大切な方です。そして私は三年越しの思いと緊張の中、前夜祭の晴れやかなスタートに胸をなでおろしました。



全員がビールで喉を潤したところで、もうお一人のご来賓・佐藤芳郎国際ロータリー理事エレクトからご挨拶を頂戴しました。佐藤様は翌日は地区研修・協議会があり、この「前夜祭」の為だけにわざわざお越し頂いた訳です。日帰りの強行軍の御参加で感謝に堪えません。



私は会場中に遠近を超えて駆けつけて下さったロータリーの友情を全身に感じて各テーブルを回ってお礼を申し上げていました。会場には出来立てのビールが直ぐに運ばれて来ます。初めの頃は少し遠慮がちなテーブルでも大いに盛り上がっていました。そして、テーブルには良く分からないくらいのジョッキーが空いていき、皆様のお腹の中に収まっていきました。気が付いたら抽選会が行われていました。私が呼ばれたので何か当選したかと思いましたが、大きな勘違いで、抽選箱から券を引くだけのコールでした。その後、誰かが呼ばれる度に会場から大きな歓声が湧き上がっていました。その段階で私は自分が酔っているとは思わなくらい酔っていました。その後閉会の辞の筈でしたが、私が呼ばれました。発起人としてお礼を申し述べなさい！という実行委員会からの厳命でした。

私は認証式の閉会の挨拶担当となっていましたので、ご参加の皆様にご心から歓迎の言葉を申し上げ、もう一人の発起人である第1地域E/MGAの中谷研一パストガバナーから詳細に亘る経過説明が述べられました。流石に超我の奉仕賞を受賞されるほどのロータリーアンです。感心してお話を聞かせて戴きました。2019年7月の年度が開始される前のことでした。「日本では、大口寄付や冠名基金が難しく、効果的なファンドレイジングはPHS(ポール・ハリス・ソサエティ)に入会される会員を増やすことである。それには認証式を盛大に行うことに秘訣がある」と二人の意見が合意しました。その合意を受けて2020年4月と2021年4月に2年間PHSの認証式を企画していたのですが、ご承知のようにコロナウイルス感染拡大を受けて止む無く中止して臨んだ3年目の本日、100名を超えるご登録を頂き開催できることの喜びで、私たちは顔を見合わせる度に目頭が熱くなり困りました。福井敬悟(PDG)PHS実行委員長の心温まるご挨拶にも涙が溢れ、感動でいっぱいの前夜祭となりました。ご来賓皆様をはじめ、全国から御参加の皆様のご友情に、感謝と御礼を申し上げます。



【PHS 認証式のハイライト】 認証式が盛大に挙行されました



2022年4月24日(日)晴天、札幌プレミアホテル TSUBAKI

地下1階カメリアホールに於いて、100名近いご登録、参加を頂き、まずは10時45分から隣の写真室で一同集合写真の撮影しました。今回のRRFC便り5月号は「PHS 認証式特集号」としてこの集合写真を載せてあります。中谷 E/MGA と私は PHS 認証式の歓迎用の旗を二人で持ちました。これも実行委員会の粋な計らいで嬉しい記念写真となりました。皆んな笑顔です。



第1部 <オープニング>

そして本会場に移り 11 時オープニングです。司会者は第1地域 ARRFC の細川吉博 PDG にお願ひし、来賓紹介でスタートです。開会挨拶は第1地域 E/MGA の中谷研一 PDG が PHS 認証式の効果と今後の重要性について素晴らしいご挨拶をされました。続いてご来賓のご挨拶です。今回お忙しい中にご出席を賜りました国際ロータリー理事辰野克彦 PDG から理事会の近況やこの度の PHS 認証式に関する取り組みに過分なお言葉を賜り実行委員会は大感激でした。この日辰野国際ロータリー理事は別の所用があり、ご挨拶後第1部終了後ご退席になり、会場から盛大に感謝の拍手をお見送りさせて頂きました。



また第1部では三木明 TRF 管理委員からビデオメッセージをお届け頂きまして、会場の大スクリーンでご挨拶を願ひました。これも嬉しいご挨拶でした。三木 TRF 管理委員は私が地区ガバナー就任前、サンディエゴの国際協議会の研修リーダーで大変お世話になりました。2年前は RI 理事として2年間お勤めになりました。その折は神戸でのロータリー研究会で財団部門のセッションと青少年部門(ローターアクト)のセッションでモデレーターのご指名を戴きました。私のボスですからノーはありません。喜んで努めさせて頂きました。今回もご無理を申し上げてご参加戴きたかったです。ビデオメッセージを頂戴して感激いたしました。三木先生本当に有難うございました。

続いて第1地域 RPIC の井原實 PDG から、公共イメージの向上に繋がる今回の認証式における、我々チームとしての取り組みに賛辞を賜り、第1部が終了いたしました。



第2部 <PHS 認証式(入会式)>



引き続き、第2部「PHS 認証式(入会式)」が行われ、第2地域 RPIC の服部陽子 PDG(次期国際ロータリー研修リーダー)からの御祝辞を頂戴いたしました。今日 PHS のお仲間になられた方々にお喜びと感謝が述べられました。ご自身も財団には特に強いお気持ちがあると話されて今後のロータリー財団を支えて頂くことへの重要性についてのご挨拶が印象的でした。その後、今回新しくPHS 会員になられた方々に認証状が授与され、服部陽子 RPIC がそのプレゼンターをお勤め下さり、和やかな内に素晴らしい第2部となりました。その後、新会員を代表して各地域からお喜びのご挨拶を頂きました。

3名の挨拶後、第3地域熊本からご参加の2720地区森野修二様からご挨拶を頂きました。2部の終了のご挨拶は、第2地域E/MGA杉岡芳樹PDGから日本のPHSのメンバーは世界的に少ないお話や、このPHS認証式を毎年継続的に開催されることが特に大切だと、次年度以降の課題にも触れて、今回の認証式の成果をお話し下さいました。杉岡様誠にありがとうございました。



第3部 <PHS 午餐会>



続いて第3部 PHS 午餐会の開会です。司会が細川 PDG から第1地域 ARRFC の橋岡久太郎 PDG にバトンタッチ。細川 PDG から「ハイ Q ちゃん宜しく」と同期のガバナート同志で仲の良さがアピールされました。



そして愈々高柳 PDG から乾杯のご発声で宴会のスタートです。

また会場に一際素晴らしい花束が送られていました。第3地域 RRFRC の永田壮一 PDG から今回参加の予定でしたが急遽参加できなくなったようです。皆様の友情とお心使いに深く感謝を申し上げます。

和やかなうちに午餐会の開会のご挨拶を第1地域 EPNC の高柳育行 PDG から、PHS認証式の登録料にはポリオプラスへの3千円の寄付が含まれていることに、関係者としてお礼のご挨拶を頂戴いたしました。

最近アフガニスタンで野生株のポリオが1名確認されたことなど、最新情報の報告も頂きました。



司会の橋岡様から各テーブルに用意されたワインについて赤・白ワインとブドウジュースが今回の発起人のお一人で第1地域 E/MGA 中谷研一様からのご寄贈であり栃木県足利市のワイナリーからであること、また第2地域の Environment・MGI 野口英一PDG から白ワイン(甲州ワイン)が贈られたことが紹介されました。

会場には美唄が生んだ、バイオニスの杉田知子さんとピアノの矢崎有佳さんの素晴らしい演奏の中で午餐会は進行されました。途中ミニコンサートも披露され格式の高い午餐会となりました。



< PHS 新会員 皆様 >

閉会の辞を私から申し上げました。万感胸に詰まるものがありました。最近あちこちが緩んで来て涙も溢れそうです。と前置きして辰野 RI 理事、前夜祭に駆けつけて下さった佐藤 RI 理事エレクト、ビデオメッセージでご挨拶を頂いた、三木TRF管理委員長、各地域のコーディネーター・アドバイザーの皆様にお礼を申し上げ、遠近各地区からご参加下さった皆様を中心に御礼申し上げます。

今回急遽結成され短時間で周到な準備をされた福井実行委員長・出村実行副委員長・中田実行副委員長をはじめ多くの委員の皆様のお陰で無事に終了できますことにも、謹んで感謝御礼を申し上げます。

最後に、ロータリーは素晴らしい人と人との出会いを結んでくれる組織だと痛感しました。このように素晴らしい、人と人が繋がるロータリーは、増強もファンド・レージングも自然と達成されるに違いありません。また、ロータリーは素晴らしい人間を作る場所だということも再確認できました。皆様に貴重な機会を賜りましたことを最後にもう一度深く御礼申し上げます。(羽部記)



番外編 <同期のガバナー皆様達と>

夕刻:実行委員会の直会が、私の同期ガバナー・令夫人・実行委員会メンバーを含む30名で開催されました。その様子を御笑覧願います。



【寄付推進 & 補助金】



＜ローターアクターによる補助金参加の新たな機会＞

ローターアクターは、長年にわたり、地元をはじめとする幅広い地域社会で有意義な奉仕を行ってきました。7月から、[ローターアクターは、ロータリー財団の補助金を申請できる](#)ようになり、さらに大きな影響を世界にもたらすことができるようになります。ローターアクターと補助金に関する[よくある質問](#)をダウンロードし、詳細をご覧ください。

「世界でよいこと」を今後も実現していくために

寄付者は、世界でよいことをすることへの熱意を抱き続けており、ロータリー財団へのご寄付により、ロータリーは重要な活動の数々を実現することができます。2021-22年度、ロータリー財団は既に436口の地区補助金、929口のグローバル補助金、132口の災害救援補助金を提供しています。これらの補助金を通じて、ロータリー会員一人ひとりが、地域社会とともに緊要なニーズに取り組み、解決策を見出しています。

今後も素晴らしい活動を実現し続けていくには、財団へのご支援と、行動を起こすことが必要となります。[寄付の方法](#)について学び、寄付額を問わず大きなインパクトを生み出すことができることを、あらためて認識しましょう。

＜6月より大規模プログラム補助金が申請可能に＞

クラブや地区のプロジェクトが成功を収め、さらに拡大する準備ができている場合は、次回の大規模プログラム補助金への申請をご検討ください。この補助金では毎年、ロータリー会員が経験豊かな協力団体と協力して実施する、成果が実証されている優れたプログラムに200万ドルが授与されます。2022-23年度大規模プログラム補助金の申請書は6月10日まで利用可能となり、クラブと地区は、8月1日までに、プロジェクトの期待される成果、パートナーシップ、目標をまとめたコンセプトノートを提出することとなります。

[申請に関する詳細](#)や、国内外のプロジェクトを強化するためのリソースをご利用ください。また、大規模プログラム補助金に関するウェビナー(Programs of Scale: Competition Insights)にもご登録いただけます。このウェビナーは、5月24日(火)の[午前8:30](#)と[午後4:30](#)に2回開催されます(留意点:上記はシカゴ時間となり、日本時間は14時間進んでいることにご注意ください)。2022年大規模プログラム補助金の受領者は、[ロータリー国際大会](#)にて発表されます。

【ポール・ハリスの物語】

『ロータリーの歴史』

ポール・ハリス:ロータリー創設者

ロータリーは、ポール P. ハリスという一人の男性のビジョンから始まりました。

ハリス 3 歳。祖父母の家に移った頃。1868 年 4 月 19 日に米国ウィスコンシン州ラシーンに生まれたハリスは、3 歳の時にバーモント州ウォリングフォードに移り、父方の祖父母に育てられました。バーモント大学とプリンストン大学で学び、1891 年にアイオワ大学で法学の学位を取得しました。

1896 年にシカゴに移り、法律事務所を開設。その 4 年後、シカゴ北部で同僚の弁護士ボブ・フランクと夕食をともにし、一緒に散歩していたときのこと。界隈に立ち並ぶ店に二人で立ち寄ったとき、ハリスは、フランクが多くの店主たちと親しくしていることに驚きました。シカゴに移り住んで以来、事業人の間にこのような友情を見るのがなかったハリスは、ウォリングフォードで過ごした少年時代を思い出し、次のように考えました。

「大都会にいる何百人、いや何千人という他の人たちにも起きたことを体験しているに過ぎないのだ、という思いが消えなかった。...立身出世するために農場や小さい村からシカゴにやって来た若者たちが大勢いるはずだ。...彼らを一堂に集めたらどうだろうか。彼らも自分と同じように友情を求めているとしたら、きっと何か生まれるに違いない」



(1925 ポール・ハリスとジーン夫人)

ハリスはやがて、仕事を通じて知り合った数人の仲間を集め、地元の職業人から成るクラブを結成するという構想について話し合いました。1905 年 2 月 23 日、ハリスとガスターバス・ローア、シルベスター・シール、ハイラム・ショーレーが、シカゴ中心街にあるローアの事務所に集まり、これが世界初のロータリークラブ例会となりました。

1907 年 2 月、ハリスはシカゴ・ロータリークラブの 3 代目会長に選ばれました。会長の職を退く少し前、ハリスはロータリーをシカゴ以外にも広げようと試みていました。経済的負担が大きくなることを懸念した数人の会員が拡大に反対しましたが、ハリスの粘り強い努力の結果、1910 年、米国のほかの主要都市にもクラブを結成することに成功しました。

その一方でハリスは、理事会のある全米連合会を結成する必要性を感じていました。1910 年 8 月、シカゴで初のロータリー全米大会が開催され、16 の既存クラブが一体となって全米ロータリークラブ連合会(現在の「国際ロータリー」の前身)を結成しました。この新しい連合会は、全会一致でハリスを会長に選出しました。

ロータリー会長 2 期目の終了とともに、健康状態の悪化および仕事と家庭を理由にハリスは会長職を辞任しました。大会の決議によって名誉会長に選ばれたハリスは、亡くなるまで名誉会長であり続けました。

1920 年代中頃、ハリスは再びロータリーに積極的に関与するようになり、ロータリーの顔となって精力的に活動しました。会員増強と奉仕活動の推進のため、ハリスはしばしばジーン夫人を伴って大会に出席し、世界中のクラブを訪問しました。長い闘病生活の末、1947 年 1 月 27 日、ハリスはシカゴにて 78 歳で永眠しました。亡くなる前にハリスは、葬儀に花を贈る代わりにロータリー財団に寄付してほしいと言いました。偶然にもハリスが亡くなる数日前に、ロータリーのリーダーたちは財団での大規模な募金に取り組んでいました。訃報を受け、ロータリーは寄付金を集める方法のひとつとして、ハリスの遺志を反映したポール・ハリス記念基金を設立。亡きロータリー創設者を偲ぶため、多くのロータリアンがこの基金に寄付しました。逝去から 18 カ月間にロータリー財団に 130 億ドルの寄付が寄せられ、財団の最初のプログラムである高等教育奨学金に充てられました。

([ポール・ハリス:ロータリー創設者](#)より抜粋)

【ジョーンズ会長エレクトの未来ビジョン】

『夢を繋ぐジェニファー・ジョーンズ会長エレクトが描く、
多様で活気あふれる未来のロータリー』



ロータリーにとって多様性とは？

ロータリー全体で見ると多様性は見られますが、身近な活動の場ではどうでしょう？ クラブに多様性はありますか？ 思考、年齢、文化、ジェンダー、職業に多様性があれば、それが話し合いに表れます。それが、ロータリーの隠し味。他の団体にはできない方法で問題が解決できる秘訣なのです。さまざまな経験が話し合いに生かされて、ロータリーは解決策を見つけます。「多様性は理解していますよ」というクラブは当然あるでしょう。そうかもしれないし、もしかしたらそうではないかもしれない。それでも、今この時点でこのような対話に本腰を入れた団体として、ロータリーは独自の立場にあると思います。ロータリーは政治色も宗教色もなく、お互いを尊重しながら安心して対話の場を提供できるのです。

RI 会長の役割をどう定義しますか？

変える、という前提で会長職に就任するわけではありません。今日の文化と情勢の中で、意味を持つ団体としてどうすればいいか、という観点で会長職に臨んでいます。未来のためになるにはどうすればいいか。

ここ何年かでの取り組みを少し変えればいいのかもかもしれません。ある特定の層に訴えかける取り組み、という意味ですが、もっと当事者に寄り添うべきなのかも。多くの女性に参加を呼び掛けても大して結果が出ないのなら、「彼女にできるなら私にだって」と前向きになれるようなインスピレーションを与えるべきなのかもかもしれません。若い世代、若い思想家を迎え入れたいのなら、そういう行動を取る必要があります。彼らにとって大事なことを示して、自発的に取り組めるような団体にならないといけません。私が何より貢献したいと考えているのは、ジェンダーではなくコミュニケーションの分野です。現代において、人と違うのはいいことであって、それを受け入れることでロータリーが変わってしまうわけではない、ということをお会員たちやその他ロータリーファミリーの人たちに伝えていきたいのです。ロータリーの DNA は変わりません。ロータリーの中核的価値観は変わりません。やはり廃りがあるようなものではないのです。それでも今、物事の見方を少し変えることはできますよね。

若い会員だけでなく、若い思想家とは？ どう違うのでしょうか？

考え方が大人の 25 歳の人に出会ったことはありますか？ 誰でもありますよね。一方で、若々しい発想を持った 86 歳の人に出会ったことは？ もちろんあることでしょう。若い思想家とは、そうした人たちを指しています。

「世界を変える行動人」として活動することは、私たちの生きる喜びです。ロータリアンは活動的です。行動を起こします。私が若い思想家と考えるのは、そういう人たちのことです。私たちは、世界中と地域社会の中で行動を起こしています。ロータリーには、私が相互メンターシップと呼んでいる仕組みを活用する素晴らしい機会があります。経験のレンズを通して名案が得られることもあれば、経験が浅い人から名案が出されることだってあります。ロータリーに若い会員が参加すれば、新鮮な視点を得られて、常に進化し続けられるという希望が生まれます。

分かりやすく言うと、良いアイデアを思い付いてローターアクトクラブに提案すれば、数日のうちにそのアイデアの実行への道すじがつかめます。ソーシャルメディア上での活動を始める、呼び掛けてパートナーを見つけるなどいろいろな方法で行動を起こします。非常に迅速なのです。一方、同じアイデアをロータリークラブに提案したらどうなるでしょう？ 委員会を設置して、話し合いです。何度も、何度も話し合い。慎重なやり方が悪いというわけではないんですよ。今のは、冗談の部分も大きいのですが、でも、形式的なやり方だと物事が前に進まなくてイライラさせられることもあります。若い世代に目を向けることで、新しい機会が生まれるのです。方法が違いますから。若い人たちから本当に学ぶべきことだと思います。

(『Rotary』誌 2022 年 3 月号より)

【東本願寺のつつじと子規の句】

<浅草東本願寺ご本堂脇
に咲くつつじ子規の句>



6月号で最終になる第1地域 RRFC 便りです。3年近く描き続けた下手な絵と多く登場したのが正岡子規の句でした。最終回には最後に紹介しようと心に決めているものがあります。ですから子規の句は、これが最後になります。僅か34歳の生涯に多くの句を残して逝った天才句人でした。最近浅草に住まいをしておりますと隣の根岸には終焉を迎えた家があります。台東区根岸2丁目5-11が「子規庵」として戦後再建されて残されています。

句碑で思い出すのは上野恩賜公園にあるボールの形をした句碑は有名です。子規はベースボールを日本に広めた先人とも言われています。きっと若き頃夏目漱石と一緒に野球に興じて大きな声を出していたように、以前この句碑を見に行った時にそんな声が聞こえてきたように感じました。春風に吹かれてそこには「春風や まりを投げたき 草の原」この公園で子規は明治19年頃から23年にかけて野球を楽しんでいたようです。

ベースボールを「弄球」と訳したほか「打者」「走者」「直球」などの訳語は現在も使われているのですから物凄い人です。それらの功績から平成14年に野球殿堂入りを果たしています。何故そんなに子規のことが好きかと聞かれると、夏目漱石や秋山真之のような美男子でなく、どこか憎めない人間性が私はとても好きです。脊髄カリエスでその凄絶な闘病生活は、随筆「病牀六尺」(明治35)などに詳しく書かれています。左足が曲がったままでしたので、机の左の一部をくり抜いて使用したと言われています。



今回紹介した句は、「つつじ多き 田舎の寺や 花御堂」です。浅草の本願寺には沢山躑躅(つつじ)が綺麗な花を咲かせています。浅草は田舎の寺ではありませんが、花御堂はお釈迦様の誕生仏にお花まつりに甘茶をかけてお祝いする習慣があります。その花御堂の周りに花を飾って荘厳するのですが、このお堂を多くの躑躅が飾っているそんな様子を詠んだのだと思います。子規の句を多く紹介しました。そこには仏様に纏わる句の多いことを感じていました。やがてこの病と共に自らも人生を終えて行かねばならないことをいつも傍に生きたと思います。子規の家には大きな曼陀羅が掛けられていたようです。曼荼羅は仏様の世界であり、大宇宙です。大日如来を中心に、胎蔵界曼陀羅と金剛界曼陀羅に表現されています。密教の教えと共に日本にも伝来しました。胎蔵界曼陀羅は母親のお腹の中で愛しまれている姿を慈悲の世界とし、金剛界曼陀羅は知恵の働きで幸せな人生を感じて行くことができる世界を表現しているのです。慈悲と智慧を説くのが宗教であり、仏教だと考えます。子規の部屋の曼陀羅は胎蔵界曼陀羅でした。そして日本文学に大きな影響を与えた天才句人は僅か34年の人生を仏様の世界に帰って往かれたのです。(羽部記)